



やぎだ

議会だより

荒神海水浴場

No.113

2006.7.15発行



白山神社例大祭（豊間根小学校児童による「よさこいソーラン」）

6月
定例会

定例会のあらまし

一般会計に3,884万円を追加 — 2P

12人から10人に

町農業委員の選挙による定数を削減 — 3P

町の考えを聞く — 4P

議決議案ダイジェスト — 3P

特集「追跡…一般質問のその後」 — 11P

議会アラカルト（傍聴席から） — 12P

六月定例会は、六月六日から八日まで三日間の会期で開かれました。初日冒頭には、三月に逝去された鎌田孝典議員の追悼演説が同僚議員から行われ出席者全員で黙とうをささげ、故人の冥福を祈りました。一般質問（四ヶ／＼十ヶ／＼に掲載）には八人が登壇し、建設行政や教育行政など幅広く町政について質問しました。町からは、町税条例の改正や農業委員会の選挙による委員定数条例の改正、専決処分による補正予算など二十一件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決され、三日間の会期を閉じました。



第2回定例会の様子

一般会計に3,884万円を追加

小学校の耐震診断事業など新たに実施

町一般会計に三千八百八十四万円を追加するなど十八年度の補正予算二件が提案され、審議の結果すべて原案のとおり可決されました。今回の一般会計の補正は、社会福祉施設整備への支援や学校耐震診断業務委託料の増、各種事業の補助内示による増減などが主な骨子で増減された主なものと質疑の概要は次のとおりです。

- ▽町一般会計に三千八百八十四万円を追加
- ▽老人福祉費（平安荘整備費補助金など）：千五百六十九万円の増
- ▽観光費（山田の魅力発信事業補助金など）：四百三十万円の増
- ▽道路新設改良費（長林大浦線改良工事など）：二千九百四十万円の増
- ▽学校管理費（小学校校舎耐震診断委託料など）：千五百四十二万円の増

建物耐震診断事業の対象となる学校は

問 学校の建物耐震診断は全部の学校を対象として実施するの。診断結果によつては補強の改修も考えているか。

教育委員会 大沢小、山田北小、山田南小、織笠小、船越小の五校で、昭和五十六年以前に建築された非木造の学校が対象となる。診

長林大浦線の本年度の事業個所と時期は

断の結果によつては安全を考慮し改修の方向で努力したい。

問 長林大浦線の改良工事費が増額されている。本年度の工事個所と時期は。

地域整備課 国庫補助の増額により事業費が増えた。工事個所は、大浦崎と水産

高校実習場付近の二カ所。

魅力発信事業の補助の見込みは

問 「山田の魅力発信事業」は、十八年度以降も県の補助金が見込めるのか。本年度の事業内容は。

産業振興課 本年度については、県補助金が付いたが、来年度以降は分からない。事業内容は昨年度とほぼ同じ内容で実施される。

山田北小、織笠小、山田中でおさらい教室を実施

問 「地域おさらい教室支援事業」の内容は。

教育委員会 県事業で実施されるもので、基礎・基本の定着と学習意欲の向上を図ることを目的に、週二回の放課後と夏・冬休み期間中に行う。小学校は国語と算数、中学校は英語と数学を中心に行う。

問 受講する生徒の対象と実施する学校は。

教育委員会 小学校は三学年から六学年、中学校は全学年の希望者を対象に行う。実施校は、山田北小、織笠小、山田中学校の三校。

議決議案 ダイジェスト

条 例 関 係

■山田町町税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正により、町民税、固定資産税、国民健康保険税などの町税条例の一部改正がなされました。

■山田町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例

制度の拡大により、特定障害者に該当する人も、重度心身障害者医療費助成の対象とする改正がなされました。

■山田町立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例

国の幼稚園就園奨励費補助金の限度額及び補助対象が改められたことにより、生活保護を受けている世帯などの保育料・入園料の減免額と減免対象が改正されました。

■山田町農業委員会の選挙による委員定数条例の一部を改正する条例

山田町農業委員会の選挙による委員定数が、現行12人から10人に削減されました。

予 算 関 係

【平成17年度】

■一般会計補正予算（第6号）

1,376万円を追加。総額71億5,093万円。

■国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）

2,615万円を追加。総額24億7,817万円。

■老人保健特別会計補正予算（第4号）

1,674万円を減額。総額19億204万円。

■介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）

149万円を減額。12億2,768万円。

■簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

3万円を減額。総額7,244万円。

■漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第4号）

42万円を減額。総額1億7,056万円。

■公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）

28万円を減額。総額3億3,911万円。

■土地取得事業特別会計補正予算（第1号）

1千円を追加。総額5万9千円。

■水道事業会計補正予算（第3号）

28万円を追加。総額2億7,158万円。

【平成18年度】

■一般会計補正予算（第1号）

3,884万円を追加。総額65億4,433万円。

■老人保健特別会計補正予算（第1号）

1,285万円を追加。総額18億4,619万円。

そ の 他 議 案

■岩手県内の市町村合併に伴う議案（2件）

岩手県市町村総合事務組合の団体数と規約の一部を変更。

■公有水面の埋め立てにより新たに生じた土地の編入

- ・織笠漁港の公有水面埋立地（1,208.13㎡）
- ・大浦漁港の公有水面埋立地（835.67㎡）

本年3月31日、町農業委員会から町長に対し、選挙による委員定数削減などの意見が示されました



12人から10人に

町農業委員の選挙による定数を削減

選挙による農業委員の定数を十二人から十人とする「山田町農業委員会の選挙による委員定数条例」の一部改正案が提出され、可決されました。今回の改正による新定数は、平成十九年二月の選挙から適用されることとなります。

農業委員会では、昨年の県内市町村農業委員会の統一選挙において、選挙委員定数の削減見直しが広範囲

に行われたという状況から、本年三月、町長に対して農業委員の定数を削減すべきとの意見を示しました。町では、今回、この意見の趣旨を尊重し、定数見直しがなされたものです。農業委員の定数削減は、昭和五十八年、平成十六年にも行われていました。

なお、農業委員の数は、「選挙による委員」のほか、農協・農業共済組合・

土地改良区の推薦（共に各一人）と議会推薦（四人以内）で決まる「選任による委員」の枠があります。

町税条例を一部改正

地方税法の一部改正に伴い、町税条例が改められました。これは、最近の経済・財政状況などを踏まえ、持続的な経済社会の活性化を実現するために「あるべき税制」の構築に向け▽三兆円規模の所得税から個人住民税への税源移譲▽定率減税の廃止▽土地・住宅税制

の見直し——などを柱としたもので、改正の概要は次のとおりです。

◆市町村民税

▽所得割の税率を現行三段階から一律六割（平成十九年度から適用）にすることなど

◆固定資産税

▽耐震改修された既存住宅（昭和五十七年以前に建築）に係る税額を二分の一に減額することなど

◆国民健康保険税

▽「公的年金控除」が引き下げられたことにより税負担を本年度と来年度に限り緩和することなど



人に優しい施設の整備も大事なことです
(図書館としても利用されている中央コミセン)



佐藤忠暉議員

施設整備

中央コミセンに洋式便器を

現状のまま利用してほしい

質問 中央コミセンは図書館にも活用され、近い将来正式に図書館としての改修事業を行うという。

現在足腰が不自由な人、いわば和式便器を使用するのに難儀をきたしている人々から「なんとか楽に用がたせるよう、腰かけ便器にしてほしい」との苦情があり、一日でも早く改修工

事をすることを望むがどうか。

その場合の洋式便器は、暖房便座付きシャワートイレが望ましいと考える。

松尾教育長 昨年の十二月議会で答弁したとおり、引き続き現状のまま利用していたくことで理解願いたい。

質問 中央コミセンの一

町の考えを聞く

建設行政

急傾斜地の住宅移転に支援を 県が促進事業を立ち上げた

階男子トイレのうち、二カ月程前から一カ所の大便器が使用不能になっている。清掃をする人に聞いたら、

半年以上も使用できない状態であるとのことだが、すぐ直すべきではないか。
阿部中央公民館長 原因を究明してよく調べ、確認してから対応したい。それまでは一階の別の大便器か二階のトイレを利用するか、中央公民館のトイレを利用してほしい。

質問 毎年おこる長雨や台風のために、危険区域と思われる場所に住む町民が、

公共施設に避難して一夜を過ごすことがあるが、町としては、このような町民に対してどのような考えをもってらるか。

また、そのような危険区域に住む町民に対して、住宅移転をうながし、町として支援してはどうか。

さらに、そのような町民が安全、安心、やすらぎをキーワードに暮らせる環境

づくりを、町が積極的に行うべきと考えるがどうか。

沼崎町長 現在、本町では七区域が岩手県水防計画により急傾斜地崩壊危険区域として掲載されており、本年度は大沢地区を急傾斜地崩壊対策負担金事業として実施することとしている。

住宅移転の件だが、本年度から県がかけ崩れの危険がある住宅の移転を促進するため「かけ崩れ危険住宅移転促進事業」を立ち上げている。



佐々木良一郎議員

市町村合併

合併に対する考えに変わりはないか

自立の方針を再検討する結果は出ていない

質問 合併新法により、県は、市町村合併を推進するとしている。当面合併はしないとしている町長の考えは今も変わらないか。

当面合併はしないとしている「当面」とは何年を考えているか。沼崎町政のうち合併しないということか。それは自分の保身のためか。広く町民からアンケートを取るべきと思うがどうか。

沼崎町長 県は四月に「自主的な市町村の合併に関する構想」を発表したが、合併は市町村の自主性に委ねるものであり強制はしないとの基本方針である。合併に対する町の基本的

な考えは「当面自立」であるが、この方針は、四年前に開催された住民懇談会などでの意見や町民世論の動向を見極めた上で、議会全員協議会で説明し議員の大半の同意を得たと理解している。その後、平成十五年の町議会議員選挙、翌年の町長選挙により民意が問われたと考えるが、「当面自立」の方針を再検討する結果は出ていない。

「当面」とは何年かについては、「三位一体改革」の行方も定かではなく、地方自治体をめぐる環境がどう変わるか不明のため年数を明示できずこの表現をした。

外来漁船誘致

県内外の船主、買い付け先を訪問

引き受け体制の整備が先ではないか

質問 本年度の施政方針で、外来船誘致活動を積極的に支援するとしている。私は、それを引き受ける体制の整備が先だと思うが、

地元の漁連、買受業者、加工業者とはどのような話し

合いをし、進めようとしているか。

沼崎町長 本年三月十四日に協議会の設立総会が開催され「山田魚市場外来漁船誘致協議会」が発足した。本年度の事業計画は、県

町の考えを聞く



昨年のサンマ水揚げの様子（山田魚市場）

内外の船主及び買い付け先への訪問、山田漁連の名前入りタオルの作製、勉強会の開催などである。

五月二十日には、第一回役員会が開催され、具体的な誘致活動が協議されている。七月中旬には、サンマ漁船の誘致のため、石巻、小名浜、銚子の買い付け先及び漁船団を訪問することになっていく。また、八月下旬には、スルメイカを対象としたトロール船の誘致を図るため、宮古、釜石の船主訪問が予定されている。



改良が望まれる長崎街道踏切



道又秀悦議員

安全対策

長崎街道踏切の改良を

町民の安全を考え今後勉強

質問 長崎地区は人口密集地帯で、通学・通勤時間帯は交通量が非常に多い。その中であつて、長崎街道踏み切りは、以前にも拡張の要望をしているが、未だに改良されていない。事故防止の観点から早急に安全対策を講じるべきと考えるがどうか。

沼崎町長 現地の状況はよく認識しており、平成十五年度に南小学校に向かつての右側歩道を整備した。踏切の拡張については、平成十四年にJR東日本盛岡支社と協議したが、用地買収、遮断機の移設など多額の費用が見込まれることなどから、現下の財政状況では断念せざるを得ない。

質問 左側歩道の設置については、以前の回答では、補助の導入を含め検討することのことであつた。補助事業が見込めないなら、起債を利用して整備することはできないか。

町の考えを聞く

福土地域整備課長 用地買収の費用や左側の西川などの問題もあり難しい。補助事業の導入、起債の利用

を考えても簡単ではない。しかし、町民の安全を考えると必要との認識はある。今後勉強してみたい。

町営墓地 運営と管理の見直しは町条例を基に検討する

質問 本年度の施政方針で「町営墓地は十年以上が経過しており、その利用状況などを把握して、今後現実的な対応ができるよう運営と管理について検討する」としている。

については、町営墓地の今後の運営について次の点を問う。

- ①町営墓地の現状は。
- ②今後の墓地の返還、再使用についての考え方は。現在、返還を申し出ている人はいるのか。

沼崎町長

- ①三百六十五区画のうち墓標設置者は、百二十二人。未設置者は、三百四十二人。
- ②将来的に墓地の返還を希望する場合は既納使用料還付の考え方や、返還があつた場合の墓地の再使用などについて、町条例を基に検討していきたいと考えている。

墓地の返還については、以前にそのような話があつたが、現在、正式な話は聞いていない。



来年度改修予定の石峠橋



三ヶ尻隆雄議員

総合発展計画

豊間根地区3橋の補修計画

機能回復と地震対策を考慮

質問 町第八次総合発展

計画について問う。

- ①平成二十二年の人口を一
万九千五百四十四人と予測
しているが、大きな誤差
が生じ、交付税の減額な
どで計画への影響は。
- ②「ふるさと農道桜野線」
の整備が計画にない。今
後の取り組みは。
- ③豊間根地区三橋の補修事
業の計画内容は。

沼崎町長

- ①総合発展計画における平
成二十二年予測人口は、
コーホート要因法に基づ
いて推計しており誤差は
少ない。交付税減額につ
いては、むしろ平成十九
年度からの新たな「三位
一体改革」による影響を
心配している。
- ②本路線は、平成十三年度
に「ふるさと農道緊急整

- 備事業」で実施段階まで
進んだが、一部地権者の
同意が得られず中止した。
今後は、用地確保を含め
た整備方法や有効な事業
導入を改めて検討する。
- ③本年度は調査設計を実施
し、来年度から年次計画
で石峠橋、島田橋、中村
橋の順に行う。補修の概
要は機能回復と地震対策
を考慮した計画である。

ことば…コーホート要因法

将来人口を推計する手法で、コーホート
(ある年齢層のかたまり) ごとの生存率や
出生率などによって求めます。

住民協働

住民協働推進室の今後の日程は

7月をめぐりに指針・原案をまとめる

質問

住民協働は本町が
単独で進むためには避けて
通れない大事な事業である。
新たに設置した住民協働
推進室の今後の日程は。

また、仮称「住民協働条
例」あるいは「住民協働推

進委員会」の設置を視野に
入れているか。

沼崎町長

住民協働推進
室は、現在、町内自治会、コ
ミュニティー組織などの活
動内容、他市町村の住民協
働の実態調査を行っている。

町の考えを聞く



新たな時代のまちづくりを考える地域懇談会
が各地区で開催されました(船越地区)

今後は、七月ころをめぐ
りに整理・検討を行い、その後、
住民協働推進の指針原案を
まとめる予定である。町民
からも意見をいただく検討
委員会を組織して本年度中
には計画を策定したい。
仮称「住民協働条例」
「住民協働推進委員会」の
内容については良く分から
ないが、特に条例を制定し
事業を実施する予定はな
い。必要に応じて関係課や
団体・住民と協議・検討す
る委員会は設置したいと考
えている。



三陸の新鮮で安全な海産物をいつまでも
(山田魚市場の水揚げの様子)



田村剛一議員

環境保全

放射能汚染から三陸を守れ

漁業・健康被害の防止に取り組む

質問 青森県六ヶ所村の核燃料再処理工場が試験操業を始めたことにより、三陸の海が放射能で汚染される心配が出てきた。町村会でも市長会と同様、県や原発に対し、監視体制の強化、住民説明会の開催などを申し入れるべきではないか。

沼崎町長 沿岸市町村長は四月二十五日再処理工場

を視察し、県内説明会の開催を要請するとともに、住民を代表し不安を表明してきた。六月二日には知事との懇談の場で、日本原燃に県内での説明会開催と沿岸でのモニタリングの実施を要請すること、同様に県独自でのモニタリングの実施を要望した。

町村会でも五月二十九日

町の考えを聞く

児童育成

学童保育の整備拡充

次世代育成支援計画の中で検討

の会議で市長会と同様の申し入れをすることを決定。今後も、放射能による漁業被害、健康被害を未然に防

止するため取り組んでいく。**質問** 「三陸の豊かな海を守る会」では、放射能を海に流すことを規制する法制定に向け取り組みを進めるとしている。町長にも賛同を。

質問 町民の間から学童保育の整備拡充を求める声が出ています。子育て支援、子供を守る安全対策の面からも、学童保育の整備拡充は急務と思われるがどうか。

は北小学校からの児童も受け入れている。また、昨年策定した「やまだまち次世代育成支援計画」でも整備充実を目標としており、拡充の実現に向け努力する。

沼崎町長 学童保育は昼間保護者のいない小学校低学年の児童を対象に、学校の空き教室や児童館などで放課後、遊びや生活の指導をするもの。

沼崎町長 具体的には言えないが、次世代育成支援計画の中で前向きに検討していきたい。



多くの恵みをもたらす山田湾
水産振興のため、磯資源の増
殖策も大きな課題です



生駒利治議員

漁業振興

アワビ種苗生産施設の公設民営 要請があれば真摯に受け止める

質問 町内の漁協では、アワビ稚貝の放流拡大を検討しているようである。

そういう中で、自前の生産施設を持てば安価で大量の稚貝が入手でき、アワビ養殖漁業も併せて推進できるのではないかと考える。ぜひ、町が設置主体となり進めることができるか。

沼崎町長 大規模施設による種苗生産は、コストダ

ウンが図られるものの、年間経費は数千円万円のレベルとなり、各地区とも経費負担に苦労していると聞く。

本町の場合、現下の財政状況に照らして、町が施設を整備できる状況ではない。また、運営に係る経費を、関係漁協が長期にわたって負担できるのかという問題がある。

財務改善と合併協議が進

められている中で新たな施設整備は、関係漁協、系統団体、県との協議が必要であり、それを前提として資源増殖策を検討しなければならぬ。

しかし、漁協より要請があれば、真摯に受け止め、そのような難しい問題について、漁協組合長、漁業者の皆さんとともに、よい知恵を見つけ出していきたい。

漁業者支援

養殖漁業者への補助制度新設

多岐にわたって支援している

質問 高齢化が進む養殖漁家の中では、養殖施設、資材の更新時期がきても後継者問題もあり、資金の調達に苦慮している。

本年度、野田村では、県内に先駆けて養殖漁業者を



カキの耳つり作業の様子（大沢の養殖漁家）

町の考えを聞く

支援する村単独の補助制度をスタートさせるようである。本町でも、この制度を取り入れ、養殖漁業者の経営意欲の向上を促すことが必要と思うかどうか。

沼崎町長 野田村の補助

制度は、漁業者個人を対象とするものと聞いているが、行政としてどのような支援が必要かの判断は、地域の漁業形態や直面する課題によつて決められると考える。

本町が行っている養殖漁業者への支援は、特定養殖共済掛け金の補助、ノロウイルスの研究、カキ殻等貝殻の処理、イベント開催の販売支援、漁協の財務改善支援など多岐にわたっており、これらの支援策を漁業経営に生かしていただきたいと考える。



多くの行楽客で賑わった「三陸山田カキまつり」



佐藤照彦議員

漁業振興

統一出荷基準で美味しく安全なカキ・ホタテを

高品質カキの生産と出荷基準の具体策を検討

質問

①今、町内の主要な養殖漁業であるカキ養殖は、消費者の評価が低下し、大きな危機に直面している。消費者の信頼を回復し、美味しく安全なカキ・ホタテをつくるため、統一した出荷基準をつくり、品質管理を徹底し、厳格に選別して合格したもの

だけを出荷するなどの対策を講じるべきでないか。

②サケまつり、アサリまつり、カキまつりをどう総括し、今後に生かそうとしているか。

③ウニまつり、アワビまつりも実現すべきでないか。

④養殖業者と販売担当職員による衛生管理連絡会議

沼崎町長

①低所得者世帯に対する就学援助を拡充すべきでないか。

教育行政

低所得者世帯に対する就学援助

国の補助基準により対応

質問

①低所得者世帯に対する就学援助を拡充すべきでないか。

②県立高校の授業料納入状況は。授業料減免を県に要請する考えはないか。

③通学路の安全対策を総点検し、地域住民、関係機関と連携し強化すべきでないか。

④町は平成二十一年度に町立さくら幼稚園を廃止しようとしている。廃止すべきでない。

松尾教育長

①国の補助基準によって対応している。

②平成十六年度実績で九九・八割の収納率。減免の要請は考えていない。

③平成十八年度は、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」により、学校地域安全指導員を委嘱し、効果的・継続的な安全体制の確保に努める。

④さくら幼稚園は、集中改革プランのとおり廃止の方向で検討したい。

の場で、高品質カキの生産と出荷基準づくりについて提案し、県の指導を得ながら、具体策を検討

②漁業者が対面販売する絶好の機会である。今後は、継続的な産地直売に発展させることが課題であり、漁業者が主体となり運営できるよう支援したい。

③資源が豊富なウニについては、まつりの実現に向けて働き掛けたい。

町の考えを聞く

特集 追跡…一般質問のその後

一般質問は、議員に与えられた重要な権限の一つですが、ここでは、特集「追跡…一般質問のその後」として、過去の一般質問が町政にどう反映されているのかをお知らせします。掲載内容は、平成17年以降の質問から議会広報編集特別委員会で2項目を選び、その後の状況などを追跡したものです。



どうなりましたあの提言

観光客などに対する 避難路の標識設置を

質問

—町外から訪れた地元
の地理の分からない観光
客などに対する避難路の
標識設置が必要と考えま
す。津波防災対策上から
も早期対策を講じる必要
があるのではないですか。
町ではこの質問に対し、
防潮堤付近などに設置さ

れているが、劣化が進ん
でいる所や現況の変化も
あり見直しを検討してい
ると答えています。

その後

町では、海水浴客や釣
り客などに対する津波防
災対策として、避難誘導
標識を町内の海水浴場
(オランダ島、浦の浜、
荒神社)に計九カ所設置
したほか、夜間でも見え
る太陽光発電式避難誘導
標識を大沢・山田・織
笠・船越の各漁港に一基
ずつ設置しました。
劣化が進んでいる標識
については、今後も現況
を調査し、随時更新して
いくとしています。

豊間根新田橋と 付近交差点の改良

質問

—国道45号新田橋の拡
幅改良と付近交差点(上
豊間根方面への右折ライ
ン)の早期改良を望んで
いますが、今後の見通し
はどうですか。

町ではこの質問に対し、
早期整備に向け、粘り強
く働き掛けていくと答え
ています。

その後

町では、毎年、三陸国
道事務所に対し要望活動
を行っており、本年は六
月十二日に行いました。
その結果、新田橋につい
ては、一般の財政事情な
どを考えると、当面単独
の架け替えなどは困難だ
が、震災上の観点から、
機能強化として耐震補強
を図ることにしています。
新田橋付近交差点の改良
については、安全を考慮
し、地域住民の協力を得
て実現に向け検討すると
の回答を得ております。
今後も、早期整備に向
け、粘り強く働き掛けて
いくとしています。



機能強化として耐震補強が図られることとなった豊間根新田橋

インタビュー

傍聴席からひびく声



木村 庄一さん
(豊間根・73歳)

議会を傍聴されたきっかけは何ですか。

厳しい財政状況の中でどのように町政を推進していくのか。町の活性化のため議会ではどのような議論がされているのか。議会の傍聴を通じて町の様子を知ることができればと思いい足を運びました。

議会を傍聴されたの感想はいかがですか。

議会の一般質問では、防災対策や市町村合併など幅広く町政について活発な議論がされており、大変立派

であると感じました。これからは町の発展のため、努力してほしいと思います。

今後、議会または町政に望むことは何ですか。

町が元気になるためには、「浜」の景気がよくなることが一番です。基幹産業である漁業の新たな振興策も必要ではないでしょうか。また、観光振興にも力を入れ、観光客を増やすことも必要だと思っています。

最近では子供の数が減り大変寂しい状況です。子供を安心して産み・育てる環境を整えるため、企業誘致などを積極的に進め若者が地元で定着できる環境を整えてほしいと思います。

これからも、より良いまちづくりのため、議会と行政が協力し、決めたことは全員が一丸となり頑張りたいと思います。

請願(陳情)書の出し方

町民の皆さんの意見・要望などを町政に反映させる一つの方法として、請願・陳情があります。請願書は一人以上の紹介議員(無いときは陳情書とする)の署名または記名押印が必要です。請願(陳情)の要旨、理由を記載し、住所、氏名を書き、押印して議長あてに提出してください。

〈表紙〉	
請願(陳情)書	
紹介議員 氏名	印
〈内容〉	
平成 年 月 日	
山田町議会議長(氏名)様	
請願(陳情)者の住所	氏名 印
〇〇〇〇についての請願(陳情)	
(要旨)(理由)	

明日の山田が見えてくる

みなさんで議会傍聴を

9月定例会は、9月初旬に開会の予定です。

議員出欠

第2回定例会会期中における議員の出欠、遅刻、早退などはありませんでした。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 佐々木 良 |
| 委員長 | 田村 剛 |
| 副委員長 | 小又 秀 |
| 委員 | 黒山 一 |
| 委員 | 利成 隆 |
| 委員 | 生利 治 |
| 委員 | 日忠 一郎 |

「協働」の言葉がひんぱんに見聞きされるようになった。年配の方に説明するときは「結い」と同じと説明するときは「結い」というのだ。私は若いので経験として「結い」を知らない。話で聞く限りでは違うものに見えるのだが、公共事業に使える予算が減って昔に戻るようだ。しかし、特別なことをするわけではない。地域で利用するものを地域で管理する。地域の利便のため、地域の人が協力するのだ。大掃除、沿道の花壇の手入れ、草刈等々。環境美化は今までも地域が主体であった。一方でゴミのポイ捨て、飼犬のフン害は減ってはいるが依然として減らない。また、無責任な中傷は心のゴミのポイ捨てなのだが一人一人の意識・自覚の持ちようだけで、きれいな町になる。(黒沢)

